

国立大学法人 滋賀大学 (所在地: 滋賀県)

事業名

滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センターによる「大学×音楽」のモデルづくり

事業の趣旨・目的

滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センター（愛称：おとさぽ）は全国でも珍しい、障害児者のための音楽教育センターで、文化庁等から委託や助成を受け、滋賀県内の特別支援学校、特別支援学級に学校訪問コンサートを提供したり、センター内で音楽療法やワークショップを実施している。これまでは学齢期の障害児者を主な対象としていたが、学校卒業後の障害者の音楽の生涯学習のモデルづくりをし、センターの事業として継続する。その準備段階として、調査研究と試行を行った。

事業実施体制・連携先

・事業実施体制 大学教員（音楽教育、音楽療法、障害児教育、附属特別支援学校長など）、センターの音楽療法士等で構成
・連携先 滋賀県障害福祉課活動係、滋賀県内の障害福祉サービス事業所

主な対象

すべて

活動分野

文化芸術

事業の取組内容

- (1) 地域の障害福祉サービス事業所への質問紙調査(263通郵送) (センターでの音楽の生涯学習への参加希望の有無、実施方法について)
- (2) 全国の先進事例の調査 (・9/9-9/10 愛媛大学インクルーシブ教育センター事業視察 ・9/18 NPO法人ハートアートリンク視察
・9/26 文部科学省 情報交換会)
- (3) 滋賀県と連携協議会の関係構築 (・6/10, 3/4 滋賀県との連携協議会の実施)
- (4) センターで音楽療法士によるグループセッション等の試行 →15回実施 参加者数154名 (7月～1月)
((1) で希望のあった事業所を招いた。事後アンケート調査「とても満足」78.6%、「満足」21.4%)
- (5) センターでの正式な事業化、自走化に向けて→次年度は事業所毎のグループセッションと個人申込のグループセッションを実施予定

活動の様子



おとさぽ「おとなの会」の様子

その他

滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センターおとさぽHP

<https://otosapo.com>

おとさぽ「おとなの会」の実施例（おとさぽ報告書vol.5に掲載）

<https://www.otosapo.com/%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8>

